

青垣

第16号 発行日 平成20年10月15日

雲南市立吉田中学校だより

新人戦 バレー部 準優勝 鍛錬“心と技” ～平常心で戦う難しさ～

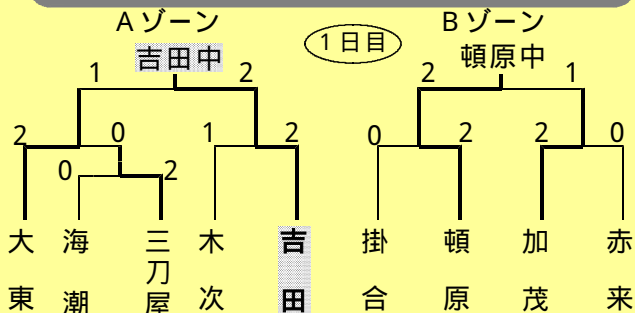
第4回雲南市飯南町新人総合体育大会（出雲地区予選）が10月7・8日（火・水）に開催されました。

三刀屋中学校を会場に9校が参加した女子バレーボールの部では、吉中が6月の総体に続いて準優勝をしました。しかし、選手たちには、予選トーナメントで勝った木次中に、2日目の決勝リーグで負けての準優勝だけに悔しさが残った試合でした。

この結果、優勝をした木次中をはじめ、吉田中、海潮中、頓原中の4校が、雲南市飯南町の代表として、11月5・6日に安来市伯太体育館で開催される出雲地区新人バレーボール大会に出場します。

出雲地区大会の場は、レベルアップを図る最高の舞台です。試合を通して、心と技を磨いて欲しいものです。ボールに向かう強い気持ちと、最後まであきらめないプレーで、『自分に負けない』吉中バレーを披露してください。

準優勝 吉中 出雲地区大会へ



敗者復活戦 勝ち上がりチーム
Cゾーン：海潮中 Dゾーン：木次中

2日目 A～Dゾーン1位によるリーグ戦

吉田0-2木次 吉田2-0海潮 吉田2-0頓原
(木次3勝 吉田2勝1敗 海潮1勝2敗 頓原3敗)



(出雲地区大会で頑張れ)

今後に活かせるこの思い～野球部～ 悔しさをバネに **吉田0-1木次** 来春に雪辱を！ 勝負は時の運？

10月7日（火）に明石緑が丘野球場で行われた新人総体野球の部では、吉中が木次中と1回戦で対戦し、1点を争う好ゲームを展開しましたが健闘むなしく惜敗をしました。しかし、生徒たちは、バッテリーを中心とした守りの野球を披露し、これまでの練習の成果を発揮するなど、吉中らしい試合を展開しました。冬季での飛躍に期待をしています。

勝敗を分けたのは、1回の表裏の攻防と、

	TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	計
H	木次	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
E	吉田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Fc													0

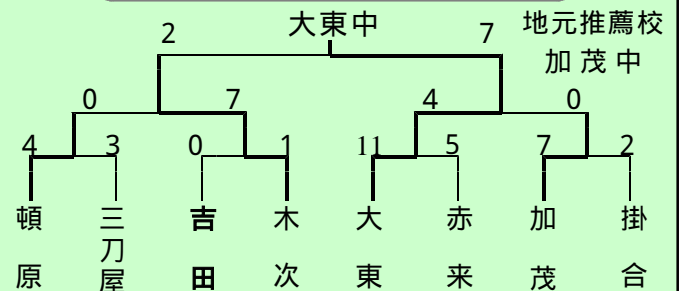
チャンスを活かすことのできなかつた吉田中の打撃が要因と考えます。1回表の木次中の1点、1回裏の吉田中の走塁ミスは、神様が吉中に与えてくれた教訓として、今後活かして欲しいと思います。

生徒の皆さんにも話しましたが、チャンスで自分のバッティングができず、カんで凡フライが上がるのは、平素の練習に緊張感がないことと、緊迫した場面で平常心を保つことができない、気持ちの弱さからくるものと考えます。更なる鍛錬で「心・技・体」のレベルアップを図って下さい。



(1打に期待)

鍛錬千日之行 勝負一瞬之行成り



1・2年生初演奏 = 吹奏楽部 =
「篤姫」のテーマ曲など
～ 吉田地区敬老大会で演奏 ～

10月5日(日)吹奏楽部の1・2年生21名による、初演奏を吉田地区敬老大会で披露をしました。会場の勤労者体育センターには、大会に参加された方々やスタッフの方など約140名の皆様が集まっていたりしました。初めての人前での合奏と、想像以上の聴衆の多さに緊張感でしたが、生徒たちは感謝の気持ちを込めて演奏をしました。

最初に、NHK大河ドラマ「篤姫」のテーマ曲を演奏しました。多くの皆さんに親しまれている人気ドラマの主題曲だけに、熱心に聞いていただくことができました。聴衆の皆さんには、語りかけるように通りすぎる音色から、数奇な運命を力強く生き抜いた篤姫の姿や、移り変わる時の流れを感じ取っていただけたでしょうか。



二曲目は、ちびまる子ちゃんのテーマソングでおなじみの「おどるポンポコリン」を演奏しました。会場では、リズムある演奏と手拍子が相まって、和やかな雰囲気になりました。

そして、石川さゆりさんの歌声で大ヒットした「津軽海峡冬景色」の演奏では、会場の皆様に口ずさんでもらい、少し昔を懐かしんでもらいました。

最後の曲「涙そうそう」では、大きな模造紙に歌詞を書き込み、演奏に合わせて会場の皆様にも一緒に楽しんでいただきました。

会場からは演奏が終わるたびに、大きな拍手をいただき、夏休み後半から、新メンバーで練習を重ねてきた、初ステージを無事終えることができました。

部員たちは、この演奏を通して「仲間と共に奏(かな)でる合奏の素晴らしさ」や「練習の成果を披露できる素晴らしさ」を、皆様の拍手から感じ取ったことでしょう。この成果をステップに、文化祭での素晴らしい演奏を楽しみにしています。

“文化祭”で演奏
響け “感動のサウンド”
～演奏を堪能ください～



11/16 文化祭 を開催!
“神楽”茶道”などを稽古
～ 来校をお待ちしています～

11月16日に開催する文化祭では、地域講師の皆様にお世話になっています「総合的な学習の時間」の神楽や茶道、フラワーアレンジメントや木工の作品展示、美術や技術家庭科など授業での作品、クラス合唱や吹奏楽部の演奏など日頃の学習の成果等を発表する予定にしています。



お点前

今回は、文集「へき地灯台」43号に掲載予定の生徒の原稿を通して、本校の「総合的な学習の時間」の「神楽」に対する生徒の思いを伝えたいと思います。ご一読くだされば喜びます。

「自分らしくいられる時間」～一部抜粋～

私は、総合的な学習の時間「吉田の歴史・文化コース」で学習をしています。このコースでは、神楽の先生に来校していただき、文化祭で発表できるようになるまで、しっかり指導していただきます。

私は、神楽が大好きです。一年生の時から神楽がやりたくて、ずっと歴史文化コースを選んでいました。神楽をやっているとき、私は自分らしく活動していると感じます。



私は人としゃべるのが苦手です。どうしても言いたいことを言葉にすることができません。でもなぜか神楽をしているときは、「もっとこうしたら」とか、人にははっきりと言

えます。私は神楽をやることによって、自分らしさを出せる時間を作っています。自分らしさを出すことによって、新しい自分を発見したりしています。物心ついたときから、私の近くには神楽がありました。私は、神楽を楽しみ、神楽になじんできました。そして神楽が大好きになっていきました。

神楽の話しをしたり、神楽を舞ったりしていると、いやなこと忘れられます。夢中になれてできることがあることは、とても大切なことだと思います。好きだから夢中になれるし、自分らしくいられるんじゃないかなあと思っています。11月16日の文化祭には、今年も神楽を発表します。



吉田中学校ホームページアドレス
<http://www.city.unnan.shimane.jp/yoshida-chu/>